

## 中央大学のSDGsに対する近年の取り組み

### ▶ LGBTを取り巻く課題を見つめ直す連続公開講座を開講

グローバル化が加速する現代社会において、人種や性別、年齢などの多様性を認め合い、新たな価値の創造が求められている。中央大学は「LGBTとアライのための法律家ネットワーク(LLAN)」と共同で、2018年度に連続公開講座「LGBTをめぐる法と社会—過去・現在・未来をつなぐ—」を開催。延べ700名以上が参加し、LGBTを取り巻く行政や法律、労働環境などにおける課題を検討した。2019年度は、「LGBTをめぐる社会の諸相」をテーマに掲げて講座を実施する。研究・教育の要素および広く社会的な制度や社会の課題をつなぐ視点を重視する内容となっている。各回の内容は右記QRコードで確認することができる。性的マイノリティが社会で直面し得る諸問題を取り上げ、多様な人々が個人の能力を最大限に発揮できる社会を実現するには何が必要かを考えていく。



### ▶ 奥多摩三村との地域連携型PBLにより、SDGsを実践する人材を育成

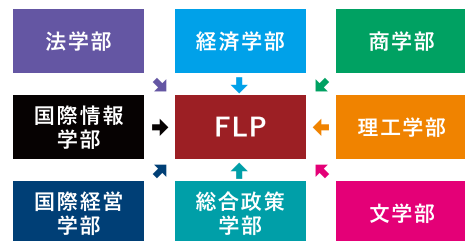
中央大学ではさまざまな分野においてリーダーシップを発揮して活躍できる人材の育成に力を入れており、教育プログラムの開発や地域・社会連携の工夫改善など、教育力向上推進事業を展開している。2019年度からは商学部が「SDGsを実践するビジネス人材の育成」と題した教育プログラムを開始した。奥多摩地域(東京都・山梨県)の檜原村・小菅村・丹波山村の地域資源と、中央大学近隣の企業が持つ未利用技術などを組み合わせた商品・サービスを学生が企画立案し、実現に向けた方策を練る。地域コミュニティに遍在する課題の解決を通じて、社会に存在する諸問題について学生の解決能力を養成する試みだ。将来的には、ビジネス分野のみならず、法学や経済学、理系分野とも連携した全学横断的な教育システムに昇華させることを目指すという。



2019年3月22日協定締結報告会での様子

### ▶ 学際的な教育プログラム「FLP」で、学生の問題解決能力を培う

全学の「知」を結集させ、2003年にスタートさせたのが、総合大学ならではの新しい教育システム「ファカルティリンケージ・プログラム(FLP)」だ。「環境・社会・ガバナンス」、「ジャーナリズム」、「国際協力」、「スポーツ・健康科学」、「地域・公共マネジメント」という5つのテーマの下、各学部が設置する授業科目を有機的にリンクさせ、新たな知的領域を系統的・体系的に学修。専門知識の修得と問題解決能力を高めることが目的だ。2018年度には、国際ショナル・ウィークの一環としてSDGsに関連するシンポジウムやパネルディスカッション(JICA後援)を実施。また、「SDGsで大学を変えよう」というテーマでサマースクールも実施するなど、SDGsに関する分野横断的な学びを展開した。



学部の枠を越えて設けられたプログラム「FLP」

## UNIVERSITY INFORMATION

CHUO UNIVERSITY

中央大学

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

URL : <https://www.chuo-u.ac.jp>